

2. 水道施設について



三田市には兵庫県の施設も合わせると浄水場が4ヶ所、配水池が21ヶ所、加圧所が10ヶ所、直圧給水を行う給水加圧所が19ヶ所あります。三田の土地は高い所と低い所の差が大きいので、各地に配水池や加圧所を作ることで、どんな所でも水がでるように工夫しています。

また、三田市の水道管(水源地から浄水場までは導水管、浄水場から配水池までは送水管、配水池から各家庭までは配水管)は、一列につなげると約700kmにもなります。これは、直線距離でおよそ三田市から岩手県を結ぶ距離です。



自動水質計



市内8カ所に自動水質計を設置し、24時間水質の監視も行っているんだよ。



兵庫県企業庁より写真提供

県営三田浄水場

施設能力：92,000 m³/日

水源：武庫川（表流水）

特徴：青野ダムの放流水を武庫川から取水しており、粉末活性炭処理、薬品凝集沈澱、急速ろ過方式で処理を行っています。広域水道のため、神戸市、三木市、西脇市、丹波篠山市、加東市、小野市へも水道水を供給しています。

古城浄水場

施設能力：10,000 m³/日

水源：武庫川（表流水）及び山田ダム

特徴：山田ダムの原水を導水管で下山取水場まで引水し、武庫川河川水と合わせて取水を行っています。薬品凝集沈澱、急速ろ過方式の他に山田ダム原水の臭気が強いため粒状活性炭処理を行い、臭気物質の除去を行っているのが特徴です。



高平浄水場

施設能力：1,025 m³/日

水源：地下水

特徴：地下水のため原水水質・水量ともに非常に安定しており、有機物質もほとんど含まれておりません。薬品凝集沈澱、急速ろ過方式で処理を行っています。

母子浄水場

施設能力：110 m³/日

水源：表流水

特徴：水質は良質であり、年間を通して安定しています。薬品凝集沈澱、急速ろ過方式で処理を行っています。自然流下方式とサイフォン方式を採用しているため、動力を必要としないのが特徴です。

